

プロジェクト名・連携企業

AI 画像認識によるゴミ箱の内容物データの分析を通じた食品ロスの可視化と店舗運営の改善
(株式会社 CALCU、株式会社グリーンハウス)

プロジェクト概要



株式会社グリーンハウスの運営する飲食店舗や社員食堂に、株式会社 CALCU が有する AI 画像認識機能付きの IoT ゴミ箱を設置し、廃棄される食材のデータ分析を行う。これにより、管理者向けのダッシュボード機能による食品ロスの可視化や、分析結果に基づいた改善点の提案をすることで、飲食店舗や社員食堂等における食品ロス発生の本解決を目指す。

プロジェクト名・連携企業

油煙や排熱が少ない「クールフライヤー」を組み合わせた循環型厨房システムの開発
(クールフライヤー株式会社、富士工業株式会社)

プロジェクト概要



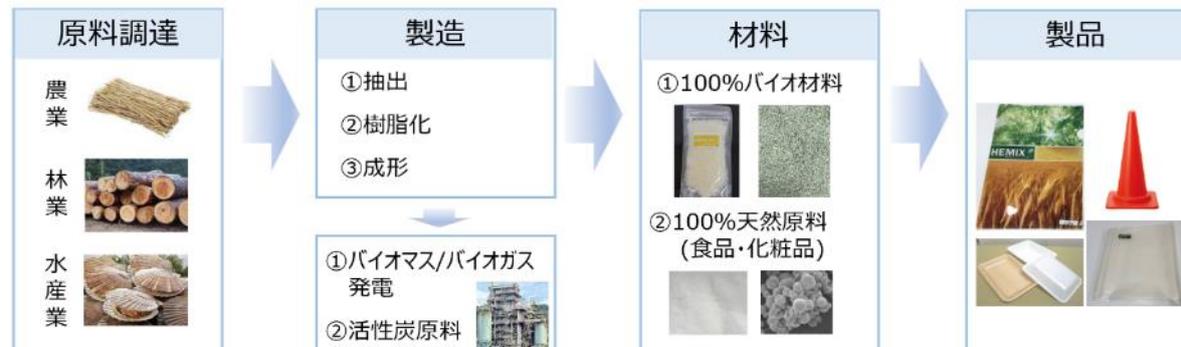
クールフライヤー株式会社が開発した、油煙・排熱等を大幅削減したフライヤー(揚げ物調理器)と、富士工業株式会社が有する空調エネルギーロスを大幅削減できるダクトレス調理油煙回収ユニットを掛け合わせ、CO2 削減効果や低コスト・省資源・省エネルギー効果の定量的エビデンスの獲得に向けた実証を行う。これにより、両社が連携した省エネ厨房システムをコンビニエンスストアや飲食店舗等に提供し、店舗設計を「脱炭素型・省コスト」に一新することを目指す。

プロジェクト名・連携企業

商業施設で廃棄される野菜や果物の端材等をアップサイクルした植物由来プラスチック製品の開発

(株式会社ヘミセルローズ、株式会社小田急SCディベロップメント)

プロジェクト概要



株式会社ヘミセルローズが開発した、植物・樹木等に含まれる天然成分から植物由来プラスチック材料を製造する技術を用いて、株式会社小田急SCディベロップメントが運営する商業施設の食品売場・飲食店で排出される野菜や果物の端材等が混在した廃棄品から、植物由来プラスチック製品を開発する実証を行う。これにより、焼却処分する植物廃棄量の削減とともに、植物由来プラスチック製品に置き換えることで、商業施設全体としての脱炭素を促進し、商業施設における資源循環モデルとなることを目指す。